

# 聖稜だより

平成29年

5月号



発行者 医療法人社団聖稜会

発行責任者 グエン スワン ナム

発行日 平成二十九年五月二十日



医療法人社団聖稜会  
理事長 グエン スワン ナム

## 医療機関としての聖稜リハビリテーション病院の今後

聖稜リハビリテーション病院は、125床全ての施設基準を回復期リハビリテーション病床としています。

入院患者様の大半は、急性期の医療機関から紹介された方々です。脳血管障害、骨折等の手術後、急性期の医療を経過した後には何らかの障害が残ってしまった患者様を対象に、1日6から9回、1回20分ほどのリハビリを365日提供しています。

訓練は機能回復を目的に日常

生活の向上、在宅復帰に向け集中的に行われます。

自宅へ退院が可能な方には、退院調整に向け、患者様と共に訓練士が家庭を訪問し、直接的な生活のアドバイスも実施します。又退院後も安心して地域に溶け込んだ生活ができるよう、居宅支援事業所のケアマネージャーと積極的な支援に向けた情報の連携も行っています。

在宅医療（訪問系）では藤枝市を中心に、医療介護保険における訪問リハビリを経験豊富な常勤訓練士6名が、近隣のかかりつけ医の協力の下、奮闘しています。在宅へ移行する際、ネットワークは非常に重要と感じています。さて、この度の診療報酬の改定により、回復期リハビリテーション病棟に、アウトカム評価が求められる、改善の基準が設定されました。これは、国で定めた一定の効

果【FIM基準27点以上】を基準とし、退院までに、どれだけ効果のあるリハビリを提供する事が出来るかを評価した基準です。

回数だけでなく、効果を伴わないリハビリ訓練と入院の長期化を抜本的に見直し、リハビリ効果の重視と、更に在院日数を短縮することを目的としています。

リハビリのアウトカム評価の報告は年4回実施され、29年1月と4月、既に2回の報告が済みました。当院の実績は、基準の27点を上回る結果を達成することが出来ました。

聖稜リハビリテーション病院は、これまで築き上げた実績の下、更なる在院日数の短縮化、質の高いリハビリ医療を目指していきます。

今後、急性期医療機関との連携を深めるとともに、切れ目のない介護連携を行い、回復期リハビ

リテーション病院として、地域における重要な役割を果たしていく決心です。

当院のこれからの課題として  
\* 従事者のスキルを一定水準以上に維持し、さらなる質の高いリハビリを目指すこと

\* 在宅医療従事者の確保  
\* 特養入所希望者等の自宅以外の受け皿施設の確保  
こうした課題の解決に向かっています。





副院長 横山日出太郎

### 就任の挨拶

今朝早くから田起こしをする姿を目にし、田植えの季節だなど気付きました。これから田植え、稲の成長、燕の飛来と思うと毎日が楽しみです。皆様はいかがですか。

こちらにお世話になり、一ヶ月半が経ちました。最初に感じたのは、気持ちの良い挨拶が交わされ職員が生き生きしている、一人一人が当事者意識をもち、前向きに仕事に従事していると感じました。

要因は何だろう。病気ではなく人を相手にしている、時間をかけじっくり対応している、若い技師さんが多い等いろいろあると思われませんが、何といっても日々の皆様のご尽力の賜物と思いまし

た。大変すばらしいと思います。次に感じた事は、聖稜会の事業が多岐に亘っており、目指している方向が一致しにくいということとです。聖稜会が発展するためには、会の目標を共有したうえで個々の戦術を決めねばなりません。経営会議で専務から聖稜会の方向性は、地域のことを考え地域の包括支援体制を定める方向にあるとお話がありました。これこそ当聖稜会の目指すところと得心しました。まずは現在病院が直面している回復期1の施設基準獲得目標を達成できるように全職員で頑張りましょう。

自分のことを少しお話したいと思えます。性格はおとなしいとおもいますが、思っていることは言ってしまう後で後悔することが多いように思います。失礼のあったときはご指導ください。もう少し思慮深くありたいと思うのですが、生来の性格はなかなか治りません。余暇は、このところ植木の手入れや草取りをしています。木と向き合って、缺をいれるときも切らないほうがいいのか考えながらやっていると、落ち着いた気分になって自分にとって大切な時間となっています。

今まで外科医としてまた藤枝市立病院で連携担当に従事してきました。経験が役に立つか見当がつきませんが、院長を補佐し病院・地域に貢献したいと思っています。

解らない事ばかりです。ご指導よろしくお願いいたします。

### 〈副院長外来案内〉

横山副院長の外来は、毎週月曜日の午前中となります。

### 【エアストレッチャーの講習会を行いました】

平成29年4月10日に当病院にてエアストレッチャー株式会社土屋由美子様を講師にお招きして、実践を交えながら講習会を開催しました。

昨年行った火災訓練の時に、エアストレッチャーを使用した訓練を職員が患者様役になって、行いました。その際に職員から講習会をやってほしいとの声が大きかったことから、今回の講習となりました。

院長をはじめ多くの職員が参加し、意義ある講習会となりました。

